

2023年9月28日

豊岡市議会

議長 福田 嗣 久 様

議会広報広聴特別委員会
委員長 前野 文 孝

委員会調査中間報告書

本委員会に付託された調査事件について、豊岡市議会会議規則第45条第2項の規定により、下記のとおり中間報告します。

記

1 付議事件

議会広報紙の発行及び市民意見の聴取、並びに広報・広聴に関する調査研究等

2 委員会調査経過

本委員会は、2022年11月の臨時会において委員選出が行われ、新体制でスタートした。

今日までの取り組みとして、①二次元バーコードの掲載による動画配信。②一般質問の頁中、「問」と「答」を対とした「大見出し」。③「議員のひとこと」欄により、議員の思いやつぶやきを掲載。④一般質問の頁中、記事に関連する写真を掲載。⑤市民の皆さまに議員を身近に感じてほしいとの思いから、全議員のプロフィールを掲載。⑥各会派の抱負・取り組みを掲載。⑦意見交換をする市民団体等を議会だよりで募集し、広聴活動へつなげる取り組みを行った。

議会だよりの発行にあたっては、その都度3回の委員会を開催し、掲載内容の検討、紙面のレイアウトを行いながら原稿の作成・編集を行った。

編集にあたっては、掲載内容の確認のため、会議録と原稿のチェックを行い、記事の読みやすさに留意しながら最終校正までの作業を行った。

研修として、毎日新聞社・毎日文化センター主催の第35回近畿市町村広報紙セミナーに、引き続きオンラインで参加した。読みやすいレイアウト等具体的な紙面づくりのコツについて見識を深めることができた。

管外行政視察を7月25日から26日にかけて愛知県の瀬戸市と東浦町にて実施した。

25日に瀬戸市議会をたずね、特に議員2名市民6名程度のグループに分かれてグループワーク方式で行われる「せとまちトーク」などの広聴活動を中心に視察した。

また、26日にたずねた東浦町議会では、「読める・分かる・つながる」議会だよりを目指して改善を積み重ねておられ、その成果は第37回町村議会広報全国コンクール奨励賞受賞として結実している。(詳細は「行政視察調査報告書」のとおり)

今回の視察での優れたものの中で、すぐに取り入れられるものを11月発行の第93号で取り入れる予定である。

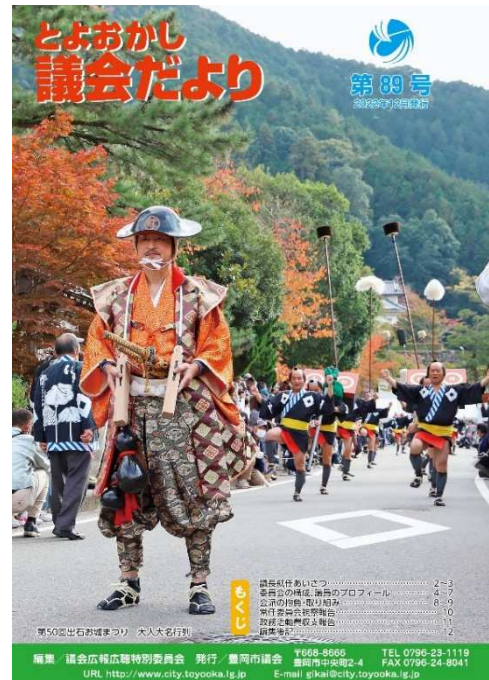
ベテラン議員と若い議員の融合した委員会であったが、活発に意見交換ができ、今日まで培った委員会のノウハウを踏襲しつつ、新しい視点で、さらに検討しながら市民に親しまれる紙面づくりを心がけた。

【議会だよりの発行】

○第 89 号（2022 年 12 月発行） 12 ページ

〈表紙〉 第 50 回出石お城まつり
大人大名行列

- 〈内容〉
- ・ 議長就任あいさつ
 - ・ 委員会構成
 - ・ 議員のプロフィール
 - ・ 会派の抱負・取り組み
 - ・ 常任委員会視察報告
 - ・ 政務活動費収支報告
 - ・ 編集後記



○第 90 号（2023 年 2 月発行） 20 ページ

〈表紙〉 祝 二十歳！

- 〈内容〉
- ・ 12 月定例会の報告
 - ・ 一般質問に 19 人
 - ・ 意見書、請願
 - ・ 委員会の抱負と課題
 - ・ 9 月定例会の委員会意見と当局回答
 - ・ 3 月定例会のお知らせ
 - ・ 編集後記



○第91号（2023年5月発行） 20 ページ

〈表紙〉 ありがとう

3月25日静修小学校、高橋小学校、高橋認定こども園で閉校式・閉園式が開催されました。

〈内容〉・3月定例会の報告

- ・一般質問に20人
- ・陳情
- ・12月定例会、1月臨時会の委員会意見と当局回答
- ・意見交換会をしませんか？
- ・6月定例会のお知らせ
- ・編集後記



○第92号（2023年8月発行） 18 ページ

〈表紙〉 笹の葉さ～らさら

図書館本館入口に7月末まで設置された笹は、来館者のたくさんの願い事で彩られました。

〈内容〉・6月定例会の報告

- ・一般質問に15人
- ・議会改革における市民意見
- ・意見書、請願、陳情
- ・視察報告
- ・3月定例会の委員会意見と当局回答
- ・9月定例会のお知らせ
- ・編集後記



(今後の議会だよりの発行予定)

○第 93 号 (2023 年 11 月発行)

〈表紙・内容〉 未 定

3 今後の課題

現状として、①発行日が議会開催月の翌々月でタイムリーでない。②委員が毎年変わるため、広報に係る研修などにより資質の向上を図るとともに、広報編集要領の共通認識による編集を行う必要がある。③市民に親しみやすい広聴活動を行う必要がある。

今後の課題として、①市民から見やすく、興味を持っていただけるように議会だよりのデザインを見直す。②可能であれば全ページフルカラー印刷の実施。③2か月遅れの発行を改め、よりスピーディーに発行できるような工夫。④「議会だより第 93 号」で愛知県東浦町を参考に、市内の団体への取材を行い、団体を写真や説明文で紹介するだけでなく、市政への要望を聞く広聴的な活動を行ったが、これを継続すること。⑤開かれた議会を目指すうえで、瀬戸市のように積極的に、運営方法に工夫を凝らした広聴活動を実施していく必要がある。

また、若者や女性にとって開かれた議会であるために工夫を凝らすべきである。さらに、ホームページ等も活用する中、市民への詳細な情報提供、SNS も活用した情報発信など、タイムリーな情報発信にさらなる検討・努力が必要である。